

絆～加茂

発行・編集
社会福祉法人
川西市社会福祉協議会
加茂小地区福祉委員会
委員長 藤田 喜志夫

<福祉のまち加茂・南花屋敷「つながりネットワーク」づくりの推進>



加茂小地区福祉委員会
委員長 藤田 喜志夫

平成30年度総会は、5月12日開催され29年度事業報告・決算報告及び30年度事業計画・予算が承認されました。いよいよ第4次福祉計画が5ヶ年(H30～34年)計画でスタートしました。加茂小地区重点事業4項目を掲げ推進してまいります。
*下記表をご参照下さい

従来からの継続事業に加え、先ずH30年度は重点2項目の実践に努めます。①「支え合い・つながり合い」のネットワークづくり、②相談窓口の開設の2項目です。長寿高齢化が進む中、1人暮らし・高齢者世帯の増加はさらに進むと思います。当加茂小地区福祉委員会では様々な福祉活動を展開して参りましたが、更に地域課題は多様化してくると思われまます。介護保険制度の改定等もあり、これからの福祉活動は「ふれあい」「支え合い」「つながり合い」「学び伝え合い」活動を通じて「地域づくり」が求められると考えられます。



幸いにして福祉委員一丸となつて、活発な活動を展開してまいります。育ちつつある地域力が基盤となり個々のアイデア、工夫を活かし、大変ではありますが楽しく推進出来る源だと思えます。行政・社協・各諸団体等関係機関との連携を密にしながら、活動を推進して参ります。最後になりましたが、地域住民皆様のますますのご健勝とご多幸を祈念致しますとともに、地域福祉活動にご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

総会 祝電

川西市長 大塩 民生

総会のご盛会を心よりお祝い申し上げます。藤田委員長をはじめ、役員の皆様、福祉委員の皆様が地域の特性に合わせ、カフェ、サロンなどの居場所づくりや、お互いさまの支え合い活動に取り組み、川西市の福祉向上にご尽力をいただいていますことによりお礼申し上げます。今後ますます皆様のご活躍により、加茂小地区の福祉が発展されますことを祈念いたします。

第4次福祉計画重点4項目

1.福祉デザイン ひろばづくり	・ふれあい・支え合い・当事者・世代間交流 ・相談窓口開設など
2.人づくり	・地域福祉への理解促進 ホームページなど ・ボランティア体験、世代間交流、体験交流など
3.遊び場づくり	・公的施設の利用促進・共同利用施設の利用促進など
4.ネットワーク づくり	・福祉ネットワーク会議・各団体との連携強化 ・情報受発信など

支え合い・たすけ合いで「絆」を深めましょう



人を大事にしよう、歳を重ね初心に戻る何かを見つけたらどうだろうか、人に教えてもらおう、人に助けてもらわなければ出来ないことをしてみたりすると歳をとっても多分心が、若々しくいられるような気がする。やって貰って当たり前と思うと心が寂しくなる、大変さを分かってあげよう、

加茂小地区福祉委員会

副委員長 大田 正

そこで有難うの一言があれば心が和み、やがては絆に繋がる。

自分のいつも役割でない事を生活に加えてみると、人が気づいていないこと、知らない世界を教えてくれる。

誰かの役にたてる、支えようなんて、ちょっとおこがましい。



～「ハピネス喫茶」支援体験記～



社会福祉協議会依頼の元、ほのぼの会では平成 17 年 3 月開始(本年で 13 年になります)ふれあい喫茶のれん下で、月 1 度 2 時から 3 時 30 分まで、美味しいコーヒーをたて、お菓子そして私達の笑顔で楽しいひと時を、お手伝いさせていただいております。

年に何回か行なう手作り団子入りおぜんざいは、大人気です。

皆さんのテーブルを回りながら、お話を伺っております、時にはピアノ演奏に合わせて童謡・唱歌又、イベントに参加します。

本年は「花咲じいさん」の寸劇をやり拍手をいただき、楽しい時間を共有しております、

いつもの顔が見えないと「どおされたのかなあ」と思いつつ次回お見えになると、ホッとしております、これまで多くの入居者の方々とお話をする中で、人生の大先輩として多くのことを学びます。これからも「ふれあい喫茶」を通してご一緒できることを楽しみにしております。

～平成29年度 福祉委員全体研修会～



サツマイモ苗植え

平成30年3月17日加茂ふれあい会館にて、福祉委員53名出席の下、川西市成年後見支援センターかけはしの所長 川瀬実様に成年後見制度についてご講演いただきました。

成年後見制度とは認知症や知的精神障がい等で判断能力が不十分な方の権利と暮らしを守る制度で法定後見と任意後見の2種類あります。

法定後見は認知症等で判断能力が不十分になってから支援する制度で、任意後見は判断能力が不十分になる前に誰にどのような支援をしてもらうか決めておく制度です。

成年後見制度は難しいイメージと私には関係ないとの思いがありますが、今回大変解かり易いご説明でよく理解出来ました。

高齢化に伴い認知症の方も増えている現代後見制度は増々必要になると改めて認識させられた実りある研修でございました。

～カフェ「憩い」への思い～

カフェ「憩い」をはじめ約2年が過ぎました。加茂会館・南花屋敷中央会館で毎週水曜日午後1時半～3時半までオープンしております。来られる方も徐々に定着して参りました。

中には、初めて来られた方ですが、話し相手が出来て毎週来るのが楽しみになりましたと言われる方も、又ある方は施設に入所される事に成り

「ここにきて楽しかったです、施設に入っても又、「連れてきてもらいます」と、おっしゃって下さいました。本当に有り難い事です。

これからも少しでも喜んで頂けるように、頑張つて参ります。





～平成 30 年度加茂小地区福祉委員会 主事業一覧表～

事業名	区分 新規・重点	内容 内容、回数、定期開催の場合は曜日
福祉ネットワーク会議	重点	地域諸団体から地区福祉委員会への要望・提案・情報交換(3回/年)
情報の受発信事業	新・重点	福祉ニュース「絆～加茂」(2回/年)・福祉行事回覧・パンフレット作成 *コミュニティ HP(平成 30 年開設)への掲載
相談事業	新・重点	ひろばサロン会開催時、身近な相談・専門機関への取次 *相談窓口(携帯電話)(担当民生委員)
ボランティア活動推進 「ほのぼの会」		ハピネス川西において(ふれあい喫茶・買物ツアー)お手伝い車椅子体験学習(加茂小学校・川西南中学校)お手伝い
避難行動要支援体制		「災害時の安否確認」支援は、加茂小コミ・自治会・非会員安否担当の民児協を通じて連携要請があれば支援体制づくりをおこなう
交流事業 「ひろばサロン会・相談会」	重点	地域住民が気軽に立ち寄れる場所(南花屋敷中央会館・旧ふたば幼稚園・南花屋敷会館・加茂会館)企画・立案・お世話等福祉委員が担当、相談会は民生委員が担当 各会場毎月 1 回
交流事業カフェ「憩い」	重点	毎週水曜日開催加茂会館(第 4 週休み)・南花屋敷中央会館(第 1 週休み)珈琲・茶菓子提供し、開店中の過ごし方は、来店方々で決める
交流事業 「手話:花花たんぼぼ」	重点	聴覚障がい者の方々と手話を通じての地域情報等交流会(南花屋敷中央会館毎月第 2 土曜)
交流事業「かるがも会」		ボランティア「ほのぼの会」による「赤ちゃん(親子)交流会」(加茂ふれあい会館 毎月第 1 水曜日)
交流事業「百寿会」		民生委員さんの協力をへて 65 歳以上 1 人暮らしの高齢者の会を支援(4回/年)
交流事業 「園児と高齢者の集い」	重点	民生委員さんの協力をへて加茂幼稚園児と、高齢者の集い 1 回/年(1 人暮らし・昼間独居対象)
交流事業「地区障がい者団体」 「加茂フラワ会」		情報等交換 3 回/年・グランドゴルフ大会 1 回/年・見学研修会等支援 1 回/年
交流事業「市民体育祭」		加茂小コミ「市民体育祭」福祉席(50 席)維持・運営
交流事業「福祉餅つき大会」	重点	加茂小地区各自治会餅つき大会支援～社協会員会費助成分配金
加茂まつり	新・重点	カフェ「憩い」出店 *自主防災会「炊き出し訓練」参加
世代間交流事業	新・重点	畑づくり(サツマイモ苗植え・草とり・収穫祭) ・夏休み工作づくり *福祉餅つき大会
認知症啓発支援事業		キャラバンメイト会によるサポーター養成講座(自治会・学校など) ・SOS 行方不明模擬訓練等支援
介護・認知症予防支援事業		南地域包括支援センター事業支援
福祉委員研修会	重点	福祉委員全体研修「福祉講座 1 回/年」「施設見学 1 回/年」「新福祉委員研修 1 回/2 年」ひろばサロン会「情報交換会 1 回/年」 カフェ憩い「情報交換会 2 回/年」